

△区域メッセージ (第 32 週) 危機と 25 の答え(創 39:1-6)	△聖日 1 部礼拝 幼稚な教えから逃れよう (ガラ 4:1-7)	△聖日 2 部礼拝/神殿建築献身礼拝 聖霊の実(ガラ 5:22-26)
<u>1. 危機- 7 わざわい 2. 7RT-機会 3. 次世代(傷、サミット)</u> 今が危機のように見えるために、多くの人、イスラエルが 7 つのわざわいの中に陥った。この危機にだまされなかった人々が 7 人のレムナントであった。この事実をどのように見るかが次世代に重要だ。これを危機として見た人は、次世代が傷を持つようになって、これを機会として見た人は次世代がサミットになる。 □序論 1. 精神病時代 人の話を信じてはいけな。それゆえ祈りなさいということだ。 2. 中毒時代 方法がないから中毒時代が来る。子どもたちが麻薬に陥れば抜け出せない。 3. 紛争時代 戦う時代だ。紛争時代、戦争時代が来る。 4. 理念時代 絶対に考えが変わらない理念時代が来る。まことのキリストでなければならない。 5. 混合時代 お金を儲けるために無条件にかき集める混合時代を作る。 □本論 1. 三位一体-知る者-危機の中に 1) 御座のこと これを実際に体験しなければならない。産業に御座のことが現れたとすれば恐ろしくない。 2) 答え 危機を通して、問題を通して、みな答えが出てくる。 3) 世界化 危機を与えられたと思ったところ王の前に立てて世界化させた。 2. 御座の祝福-味わう者 1) 問題-答え 2) 葛藤-更新 3) 危機-機会 3. 伝達する者-聖霊の満ちし 1) ヨセフは危機の中で全世界を生かした。 2) オバデヤ 1 人のために預言者 100 人、エリシャ、エリヤが生きて、ドタンの町運動が起こった。 3) ダニエルは神様のみこころを知って心を定めたのだ。それゆえ、全世界を生かすことが起こった。 4. カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の部屋 カルバリの丘の事件は何の罪もないイエス様を十字架に釘づけた事件、そのイエス様が復活してメッセージを残して行かれたのがオリーブ山、その契約を握って信じて祈ったのがマルコの屋上の部屋だ。そして、唯一、初代教会を通して世界福音化が起こった。 5. 御座、神の国、こと 御座、神の国、神の国のこと、それを与えて行かれた。これだけを祈りなさい。 □結論_神様の時刻表 それを指して、神様の時刻表が成り立つ時刻表と言う。モーセが 40 年間荒野に隠れていたが神様は一番良いことを与えられた。できないとエリヤがあきらめたとき、神様は本当にことを与えられた。地球上最悪の危機の中にあった初代教会であったが地球上、教会史の中で最高の働きをした。本当のことを味わって待ちなさい。	□序論 1. 何を持って行かなければならないのか 1) レムナント 7 人は経験しなかった未来を操り上げて動いた。 2) 根源的な力を得る神様のやぐらを建ててこそ、24、25、永遠のこともある。 3) 祈りは世界を動かす力を得ることだ。多くの人を生かすには、祈りの奥義を見つけ出さない。 2. 捨てること 1) 幼稚な考えから逃れなさいということだ。 2) 肉肉なことは救いとは何の関連もない。3) 創 3 章に陥っていること 3. 神の子ども、相続人であるレムナントが見つけ出すべき三つのこと 1) 貧困、病気、伝道ができない無能の中で確実な契約を握りなさい。祈りが分かれば神様のみことばが生きていて、みことばに道があることを知るようになる。 2) 24 まことの力と幸せを味わう見張り人の祈りで、根源的な力を蓄えて時代を生かすやぐらを建てなさい。 3) 未来の心配をせずに未来を準備して手に持って行きなさい。 □本論_相続人 1. パウロが会堂で最初に教えたこと(使 17:1-9) -御座を動かすキリストの唯一性 1) キリストは三位一体の神様が皆さんに臨むようにさせる道 2) キリストは御座の力が臨む道 3) キリストは過去、現在、未来を完全に解決する道 4) キリストの御名で暗闇の世界、空中の権威の支配者を打ち砕くことができる。 5) ここで 5 力が出てくる。 2. パウロが持っていたこと(使 18:4) -礼拝と祈りを分かるようにさせる契約の旅路 1) 皆さんの中に正確な契約のやぐらを建てなさい 2) わざわいを止める神様のビジョンのやぐらを建てなさい。 3) 永遠なことを見るドリームのやぐらを建てなさい。 4) 空中の権威の支配者、暗闇の権威を止める Universe の答え、神のかたちを持って行くイメージのやぐらを建てなさい。 5) Heavenly, Thronely, Eternally Power の中で御座の祝福を見つけ出すプラクティスのやぐらを建てなさい。 3. パウロが伝達したこと(使 19:8) -絶対やぐらを建てる神の国 1) 皆さんの学業と産業を絶対に崩れないやぐらとして建てなさい。 2) やぐらの内容 (1) 三位一体の神様の力がプラットフォームになるように準備しなさい (2) 御座の力が見張り台になるように味わって伝達しなさい。 (3) 3 時代を生かすアンテナになるように準備しなさい 3) 見張り人になりなさい(24 祈り)。神様が与えられる根源的な力を見つけ出しなさい。 □結論 1. 見張り人の力を持って行きなさい。 2. 幼稚な考えから逃れなさい。物心ついたレムナントになりなさい。 3. 常識以上に行きなさい。絶対に私を現わしてはならない。神様の栄光のために生きなさい	救いの価値を分かるならば救われた者の価値を分かるだろう。救われた者の価値を分かるならば、みなさんが礼拝をささげてみことばを受ける価値を知るようになる。 一つの単語-祈りの手帳-流れ 今日、礼拝をささげて一つの単語を握って祈りの手帳の空欄に書いておきなさい。神様のみことばの流れを正確に見なければならない。なぜ私たちが神殿を建築しなければならないのか。結局、聖霊の実のためだ。何をもって三つの庭を作るのか。 □序論_神殿を作る理由 1. 神様が願われること 1) 礼拝一つですべての人生問題を解決するための神殿(ヨハ 4:24) 2) 三つの庭がある神殿 3) 237、癒やし、サミットになる 24、25、00 システム 2. 力を味わうことができるやぐら 1) 三位一体の神様の臨在を味わうことができる所 2) 御座の力を味わう礼拝と神殿 3) 3 時代を生かす力を味わうべき 4) 空中の権威を奪う礼拝、祈り 5) 上から与えられる権威と力 3. 神殿の隠れた影響 1) 全世界に広がっている偶像文化 2) 暗闇文化 3) わざわい文化を防ぐべき <u>1. 私の中に 2. 教会の中に 3. 職業にやぐらを建てる見張り人</u> △1 千のやぐらを建ててこそ 5 千種族を生かすことができる。 □本論_この答えを永遠に持続するには 1. 愛、喜び、平安-神様に対する実 神様に愛された人はたましいを愛することができる。神様の力を味わった人はまことの喜びを味わうことができる。神様の絶対主権を信じる者は平安を味わうことができる。 2. 寛容、親切(赦し)、善意-人に対する実 神様の恵みを受けた者は寛容になれる。大きい恵みを受けて赦された者は他の人に親切にすることができる。神様の経綸を信じる者は神様が与えられる良いことを見る。神様の祝福が分からない者は良くないことだけを見る。 3. 誠実、柔和、自制-自分自身に対する実 CVDIP 契約の旅路を知っている人は誠実にすることができる。三つの庭を知っている人は柔和に仕えることができる。237、癒やし、サミットが何か知っている人は自制の実を結ぶことができる。ただ、唯一性、再創造を分かるためだ。 □結論_祈りで始める 1. 根源的力(24, 25, 00) 回復しなさい(詩 23:1-6) 2. 成就する力の中に入りなさい。霊的力を受けるのが先だ。急務なことを握って制限的集中、与えられたミッションを持って選択された集中、どんな場合も大丈夫なワナネス集中をしなさい。 3. 伝達する力を備えなさい。237-5000 種族を生かす 1 千やぐらを建てて行きなさい。 △祈りで人生を終わらせる味を知りなさい。